

【下部消化管内視鏡（大腸カメラ）検査・治療の説明書および同意書】

1. 目的と必要性 : 内視鏡を肛門から挿入し大腸をカメラで直接観察します。炎症、ポリープ、がんなどの異常がないかを調べます。異常を認めた場合、病変組織の一部を採取（生検）、ポリープ切除などの検査を行うことができます。

2. 検査前日および当日の注意事項

□ 検査前日

- 午後9時までに夕食(内容は右記参照)を済ませてください。
- 眠前に下剤(ピコスルファート液 10ml 1本)をコップ1杯の水に溶かして飲んでください。

□ 検査当日

- 朝は絶食です。

【ご自宅で下剤を飲まれる方】

- ご自宅で下剤(480ml)と水 1L を飲んでからご来院いただきます。
- 排便し、水のような状態になると検査の準備は完了です。
予約時間にご来院ください。

【来院されて下剤を飲まれる方】

- ご自宅で7:00 に水 500ml を飲んでいただきます。
- 9:00 にご来院いただきます。(水 500ml をご持参ください)
- 下剤(480ml)とご持参いただいた水 500ml を飲んでいただきます。
- 排便し、水のような状態になると検査の準備は完了です。

- 検査着に着替えていただき鎮静剤や鎮痛剤の注射を行います。
- 検査を開始します。所要時間は15〜30分程度の予定です。
- 検査後は休憩室で休んでいただいてから、検査結果を報告します。

3. 検査後の注意点

- 検査当日は飲酒、車・バイク・自転車の運転は控えてください。
- ポリープ切除をした場合は、切除面からの出血のリスクがあるため、1週間は飲酒・ジョギングやジムなどの激しい運動は控えてください。

4. 偶発症

- 薬剤によるアレルギー、鎮静剤や鎮痛剤による呼吸状態の悪化や血圧低下、内視鏡による出血や穿孔（穴が開くこと）などが主な偶発症です。輸血や手術が必要となることがあります。
- 偶発症の発生確率は1/8000程度と稀ですが、症状によっては入院や手術が必要であったり、生命にかかわることもあります。万が一、偶発症が発生した場合は最善の処置および対応を行います。

このたび、下部消化管内視鏡（大腸カメラ）検査を受けるに当たり、説明を受け納得いたしました。同検査および治療の実施について同意いたします。

年 月 日

氏名 _____ (署名)

住所 _____

患者様が未成年である場合は親権者が、患者様が自分で記載できない場合は代理人がご署名ください。

緊急連絡先 (TEL) _____ (続柄)

—大腸カメラ検査を受ける方へ 事前準備のお願い—

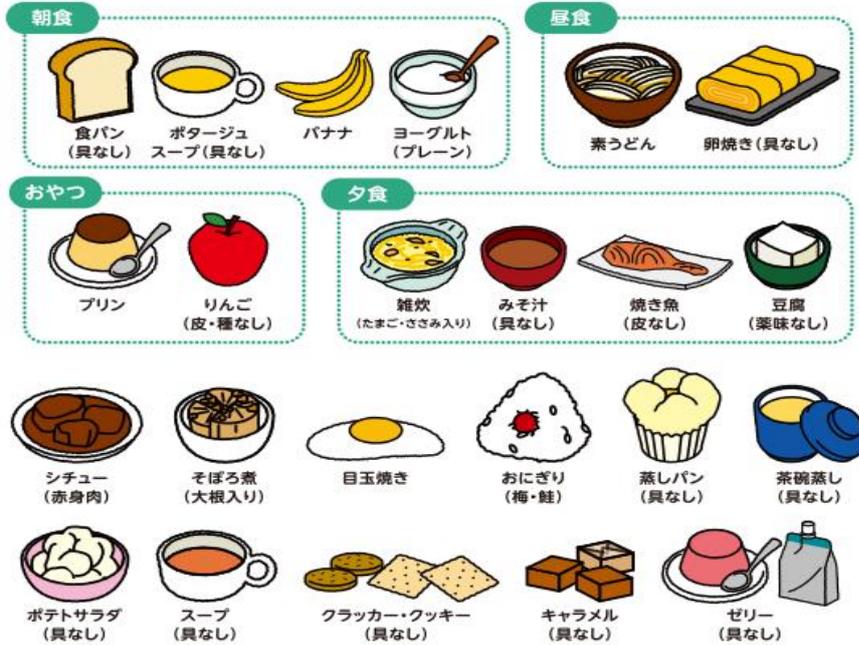
正確な検査を行うために、腸をきれいにさせていただきます。

繊維質の多いものは避けていただき、消化の良いものを摂っていただきます。

* 事前準備をしつかりしないと検査に時間を要したり、
検査が受けられない場合もあります。

【検査前日 おすすめメニュー】

* 水分は多めに摂ってください



【検査当日】

朝食は摂らないでください。(水は可)

ご自宅での下剤の内服方法

①サルプレップ(下剤)

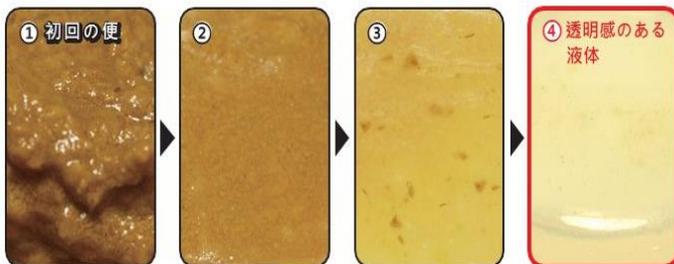
7:00~7:30 →480ml を内服

* 一気に内服せず

②水

7:30~8:00 →1000ml を内服

①②それぞれ 30 分かけて内服します



* 便がほぼ透明になれば OK !

医療法人文月会 原医院

(主治医氏名) 窪田 美紀